

令和6年度重点取組事項



国民の森林・国有林



九州森林管理局

九州森林管理局
ホームページ



【取組①】 多様な森林の整備に向けた取組

【取組②】 花粉発生源対策の加速化

【取組③】 造林事業における徹底した軽労化・省力化

【取組④】 市町村等の森林・林業行政への技術支援

【取組⑤】 あらゆる手段を駆使したシカ捕獲対策の強化

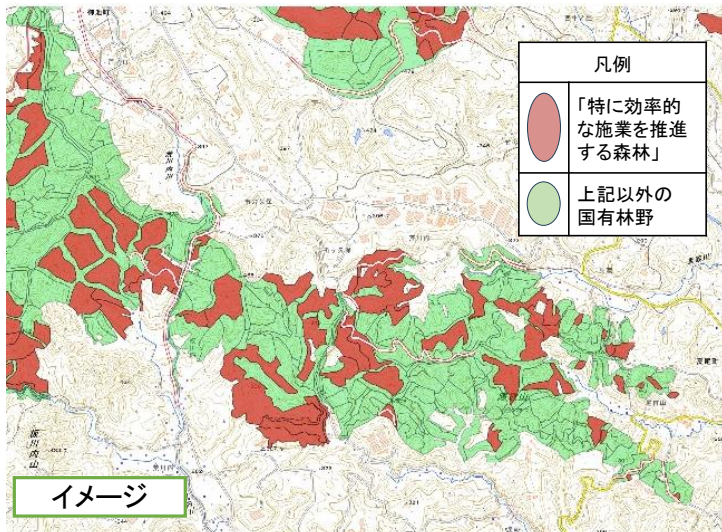
【取組⑥】 地域の安全・安心の確保や環境に配慮した国土保全

【取組⑦】 保護林や世界自然遺産等の貴重な森林生態系の保全

【取組①】 多様な森林の整備に向けた取組

- 持続的な林業生産活動に適した自然的・社会的条件が良い人工林については、「特に効率的な施業を推進する森林」に設定し、主伐・主伐後の再造林を優先的に実施。
- また、育成複層林への誘導を先導的に実施し、多様で健全な森林づくりを推進。

■ 特に効率的な施業を推進する森林



※自然的条件が良い森林：土壌が肥沃で木が育ちやすい、傾斜が緩い森林
 ※社会的条件が良い森林：林道からの距離が近い森林

■ 主伐後の再造林を効率的かつ確実に実施（例：一貫作業システム）



ハーベスタによる伐採・造材



グラップルによる機械地拵え

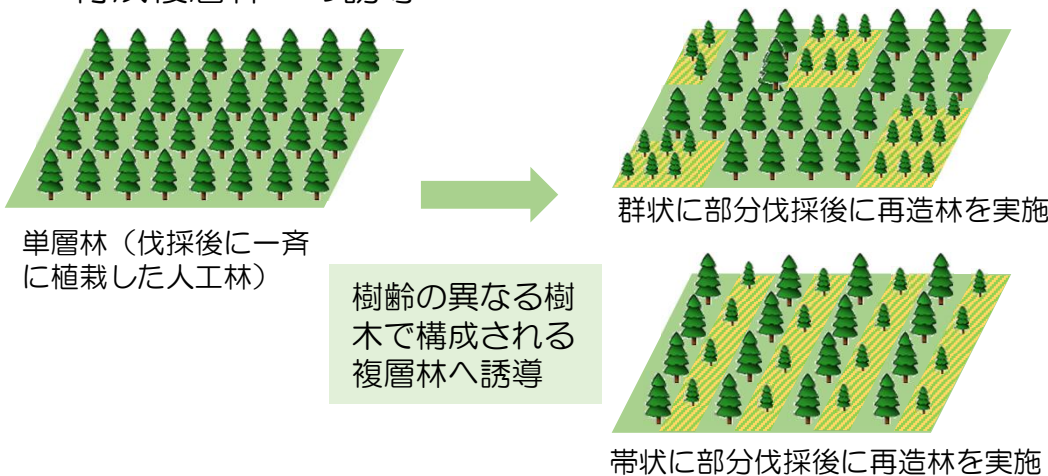


フォワーダによる苗木運搬



植栽

■ 育成複層林への誘導



大分署管内

育成複層林（群状に部分伐採）

【取組②】 花粉発生源対策の加速化

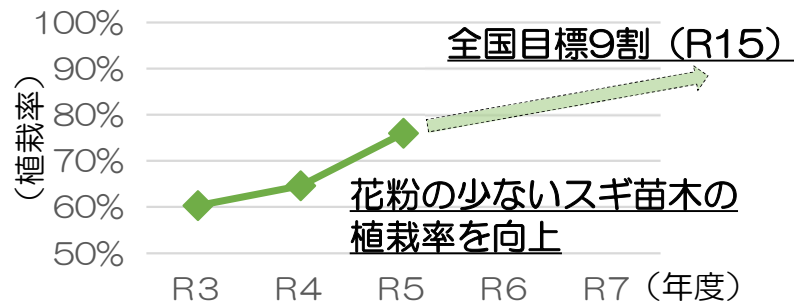
- 花粉症対策初期集中対応パッケージ（令和5年10月11日花粉症に関する関係閣僚会議決定）を踏まえ、各県が指定した重点区域に準じた国有林において、スギ人工林の伐採や植替えを優先的に実施。
- また、花粉の少ない苗木の生産拡大を後押しするため、3～5年先までの苗木の必要量の見通しの提示や、生産者との需給協定の締結に取り組む。
- 植栽した苗木の情報を管理するため、一部の造林地において、花粉の少ない苗木を植栽する際にドローンや衛星機器を活用した植栽位置、品種系統情報の管理を試行。

■ スギ人工林伐採の加速化

- ・ スギ人工林伐採面積（全国）
5万ha/年（現状）→7万ha/年（R15）

九州森林管理局においてもスギ人工林の伐採面積の増加に取り組む

■ 九州森林管理局における花粉の少ないスギ苗木の植栽率



R6、R7で2百万本以上のスギ苗木が必要と推計



九州地区林業用種苗需給連絡協議会（R5）

■ 苗木トレーサビリティの取組（局花粉症対策プロジェクトチームの設置）



花粉の少ないスギの苗木の植栽

（苗木の種類）

- ・ 花粉の少ないスギの苗木（県八女6号、九育2 - 203号）を0.43haの造林地に植栽

（区域表示、植栽位置のデータ化）

- ・ 区域表示、植栽位置をRTK-GNSSを用いたドローン等で測定
- ・ 植栽した位置情報、系統情報を国有林GISに反映しデータとして格納

花粉の少ない苗木の生産に必要な穂木の採取源の拡大に寄与

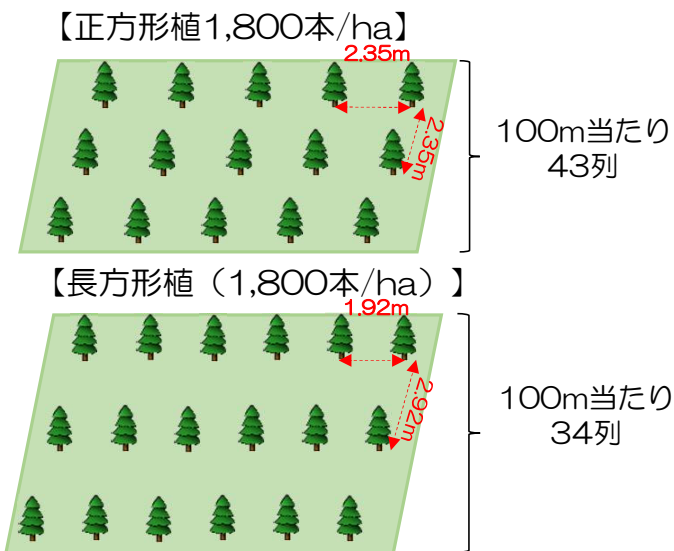
【取組③】 造林事業における徹底した軽労化・省力化

○ 造林事業における担い手不足を踏まえ、植栽・下刈りの工程において軽労化・省力化に資する技術・施業方法を積極的に導入する。具体的には、低密度植栽、長方形植え、下刈りの省略、全刈から筋刈への変更を実践し、民有林への普及を図る。

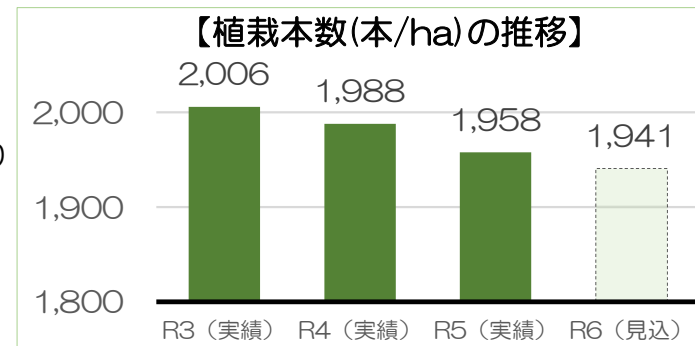
■ 長方形植と低密度植栽



長方形植え (H28植 熊本署) R3撮影



- ・ 長方形植は正方形植に比べ植栽列が少なくなることから歩行距離が縮減される（軽労化）。
- ・ 従来（3,000本/ha）より少ない植栽本数で、軽労化・省力化・コスト低減を図る。



■ 下刈りの低減と全刈から一部刈らない筋刈へ移行



筋刈実施後

- ・ 下刈りの労力を低減するため、全刈から筋刈を実施することにより、下刈りの軽労化、省力化を図る。あわせて、下刈り回数の低減により低コスト化も実施。

	R4実績	R5実績	R6見込み
筋刈の割合	11%	16%	31%
下刈り回数	4.3回	4.1回	

【取組④】 市町村等の森林・林業行政への技術支援

- 九州森林管理局で実施する研修に市町村職員の参加を受け入れるとともに、フォレスター等活動推進会議及び多岐にわたる現地検討会を開催。
- あわせて、局HPの技術支援情報サイトの充実を図るなど、市町村の森林・林業行政に対する技術的な支援を実施。

■ 多岐にわたる内容の現地検討会を実施

森林の公益的機能の高度発揮や林業の低コスト化等に資する技術の普及・定着を目的に各地で開催。



低コスト造林（筋刈り）に関する現地検討会を開催



労働災害未然防止に関する現地検討会を素材生産現場にて開催



ドローン活用チームによる市町村職員も含めた現地検討会を開催



■ 技術者の育成・支援

市町村等の森林・林業行政に対する技術的な支援を実施。



フォレスター等活動推進会議



民間連携支援チーム勉強会

■ 森林・林業に関する研修への参加受入



森林の見方研修における現地実習

森林の見方研修（基礎研修A）
研修内容：森林の見方、
森林施業と植生、
森林のGIS等の活用 等

森林の育成研修（基礎研修B）
研修内容：造林の体系、
森林被害の種類と対応
治山事業の概要 等

無人航空機活用研修
研修内容：森林・林業分野における
ドローン活用方法、
操縦実習 等

【取組⑤】 あらゆる手段を駆使したシカ捕獲対策の強化

- シカ等野生鳥獣による森林被害については、造林地の成林に支障を及ぼすほか、下層植生の消失により土壌流出が発生するなど深刻な状況。
- 地元市町村・猟友会等とのシカ被害対策協定の締結やシカ捕獲技術の普及などのシカ捕獲対策を実施。

■ シカ被害対策協定によるシカ捕獲の推進

職員や委託によるシカ捕獲に加え、市町村・猟友会等とシカ被害対策協定を締結。協定の主な内容は

- ・市町村、猟友会等によるシカ捕獲、
- ・森林管理署から市町村等へのわなの無償貸与
- ・入林届の簡素化、林道ゲートの鍵の貸与 等



森林管理署・県・市町村・猟友会による協定締結（熊本県水俣市・芦北町・津奈木町）

くくり罠の設置方法を協定式後に実演

■ シカ捕獲技術の普及

林野庁職員が開発した高い捕獲効率が期待できる「小林式誘引捕獲法」を積極的に普及



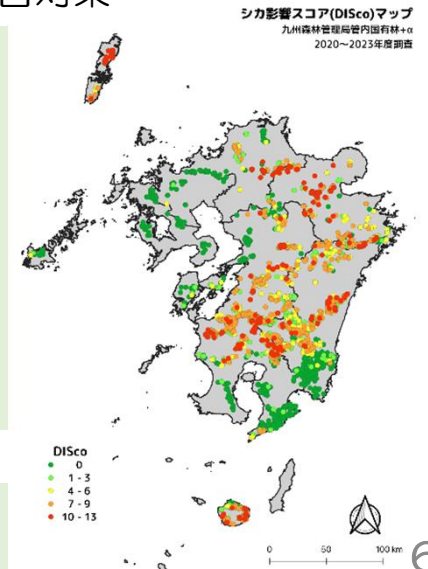
女性狩猟者の会で捕獲方法の講習会を開催

■ シカ影響簡易調査を活用した被害対策

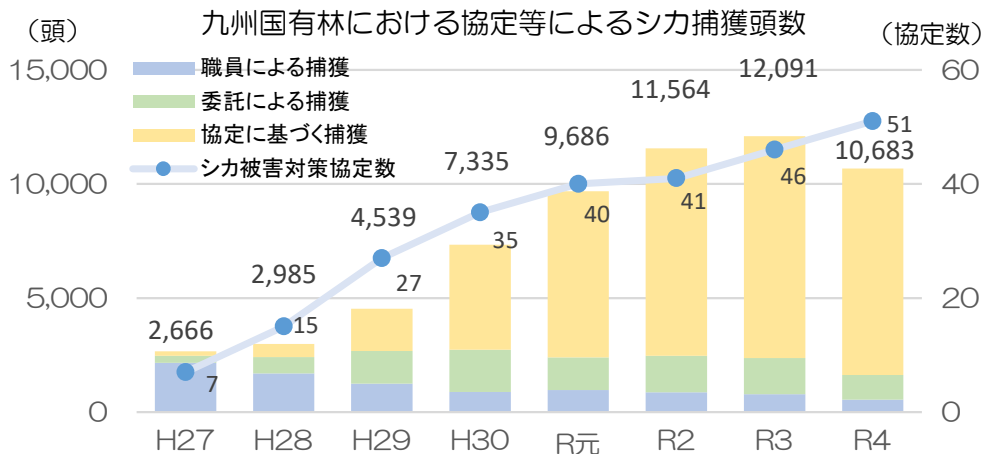
森林総合研究所と連携し、林地へのシカの影響度合いを把握。

- （調査場所）
- ・成林したスギ/ヒノキ人工林
 - ・隣接する明るい開放地（林道、作業道、若齢造林地）

- （調査項目）
- ・シカの糞や足跡があるか。
 - ・シカを目撃したか。
 - ・シカによる樹皮剥ぎがあるか。等



林地被害の予測や被害対策（シカネットの設置の可否）に活用



【取組⑥】 地域の安全・安心の確保や環境に配慮した国土保全

- 地域の安全・安心の確保に向けて、治山ダム of 計画的な設置や保安林整備等の事前防災・減災対策を実施。
- 山地災害発生時には、ヘリコプターによる被災状況調査等を迅速に実施するとともに、早期の災害復旧に取り組む。

■ 事前防災・減災対策

関係機関と連携した流域治水の取組強化（流域保全総合治山事業）

治山ダムの設置や保安林整備と筋工の配置等を計画的に実施



治山ダムの設置による河川区域への土砂・流木の流出を抑制



流木捕捉式治山ダムの設置



保安林整備と筋工の設置による土壌の保全（イメージ）

山地災害危険地区における取組

治山事業実施率を向上（令和18年度末の実施率目標 100%）



山地災害危険地区内の施設計画（宮崎県都城市）

竹を利用した海岸保安林整備

放置竹林解消への寄与と景観、施工性に適した柵工を設置



竹製柵工による海岸保安林の整備（鹿児島県日置市）

■ 災害発生時の迅速な初動対応

ヘリコプターによる被災状況調査を行い関係自治体に情報提供、迅速な復旧に向けて技術職員を被災地に派遣



ヘリコプターによる被災状況調査（令和5年7月梅雨期豪雨に係る対応状況）

■ 大規模災害発生時の民有林直轄治山事業 平成29年九州北部豪雨からの復旧

区分	計画 H30~R9	R5年度末		R6年度
		着工済	完成済	着工予定
溪間工	98基	79基	72基	4基
山腹工	12.4ha	9.07ha	8.73ha	1.65ha

スリットダムが流木を補足している様子。（福岡県朝倉市）



【取組⑦】 保護林や世界自然遺産等の貴重な森林生態系の保全

- 森林生態系や希少な野生生物の生息環境保護を図るために、特に優れた自然環境を有する国有林を保護林（87カ所、約7万5千ha）として管理。
- 九州・沖縄にある2つの世界自然遺産地域は、いずれもその多くが国有林内に所在しており、引き続き、適切な保護・管理を推進。

■ 保護林の設定、保護・管理

令和6年4月1日に「屋久島菌従属栄養植物等希少個体群保護林」を新設



ヤクシマソウ オオバシシラン

保護林における重点的なシカ被害対策

シカ被害対策を重点的に実施する保護林17箇所のうち、令和6年度は3箇所

（綾森林生態系保護地域
大森岳生物群集保護林
霧島山生物群集保護林）

に植生保護柵を設置予定



シカの侵入を防ぎ植生を維持 ← → シカの食害により裸地化
シカネット設置の効果
(白髪岳生物群集保護林/熊本県あさぎり町)

■ 綾の照葉樹林プロジェクト（綾森林生態系保護地域）



照葉樹林復元を目指してスギ・ヒノキ林の間伐を実施。また、綾小・中学校の生徒と共同で綾の森林から広葉樹の種子を採取して苗づくりを実施。今後、復元予定区域の一部に苗を植栽予定

■ 世界自然遺産の保護・管理

屋久島世界自然遺産（平成5年登録）



縄文杉
(鹿児島県屋久島町)

○屋久島湿原保全対策

花之江河では数十年で湿原の遷移が顕著化。令和5年度は侵食が進みつつある箇所では堰の設置による侵食防止対策等を実施。引き続き関係行政機関等と連携して対策を順次実施。



現地の枝条等を活用して堰を設置（花之江河/鹿児島県屋久島町）

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産（令和3年登録）



特別天然記念物アマミノクロウサギ
(鹿児島県奄美大島及び徳之島)



天然記念物ヤンバルクイナ
(沖縄県沖縄島北部)



亜熱帯植物のマングローブ林
(沖縄県八重山諸島西表島)

令和6年度 主要事業量

項目	事業量等 (カッコ内は前年度計画)
収穫量	2,910千m ³ (2,907千m ³)
主伐	1,321千m ³ (1,323千m ³)
間伐	1,589千m ³ (1,584千m ³)
木材の販売	
立木	515千m ³ (525千m ³)
丸太	460千m ³ (430千m ³)
森林の造成	124百ha (130百ha)
植付	13百ha (12百ha)
保育	111百ha (118百ha)

項目	事業量等 (カッコ内は前年度計画)
林道等新設	4.9km (7.5km)
治山 ※金額は当年度+前年度 補正の合計	49億円 (50億円)
国有林野内	32億円 (33億円)
民有林直轄	17億円 (17億円)

～各種パンフレットで九州森林管理局の取組を紹介～



九州森林管理局
ホームページ
(パンフレット)



九州森林管理局 企画調整課
熊本市西区京町本丁2-7
TEL : 096-328-3642

